

3委員会の活動に参加し企業も人も元気に豊かに
(経営労働・共同求人・教育)



「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」

経営指針・採用 教育で魅力ある 企業づくりを。



東京同友会には、「よい会社をめざす」「よい経営者になる」「よい経営環境をつくる」の3つの目的があります

この3つの目的を連携して達成するため、支部の枠を超えて活動しているのが委員会活動です。目的別に様々な委員会がありますが、中でも3つの目的を遂行するための中核的委員会が、経営労働、共同求人、教育の3委員会です。3委員会は通常各委員会毎に各種の勉強会やセミナーを開催していますが、定期的に横の連携を取り合い3つの目的にむけた総合的で一貫した取り組みを行っています。

経営理念・経営方針・経営計画

三位から成る

「経営指針」はありますか？



経営の羅針盤「経営指針」はありますか？

変化のはげしい時代に、全社員と共に進む道を明らかにし、展望を切り開いていくことが求められています。同友会では良い会社づくりの第一歩として経営指針成文化運動を進めています。同友会にご入会されたみなさん、経営労働委員会の成文化セミナーなどを通じて、会社の憲法と言える**経営指針づくり**に挑戦し社内で実践してください。

経営指針でよりよい会社になる

- ① 企業経営に対する経営者の任務が明確になり、経営者自身の使命感、意欲を高めることができる。
- ② 企業の社会的役割が明確になり社員のヤル気を引き出し、人を生かす経営がはかれる。将来ビジョンが明確になるため、社員が企業に誇りをもち、働く意欲を増進させる。
- ③ 優れた人材の採用が可能になり、社員教育の方向も明確になることから、自主的に学ぶ気風を職場に定着させることができる。
- ④ 顧客・取引先・金融機関など対外的にも信用度が増します。



人材を採用していますか？

同友会では 1980 年から1社でできないことをみんなの力で実現する活動の先陣として**共同求人**活動をスタートしました。合同企業説明会や各種学校内での学内合同企業説明会などをおこなっています。また、この活動は単に“人が取ればいい”というだけでなく、すぐれた人材の確保から育成までを一貫してすすめているのが特徴です。こうした姿勢は、大学や短大専門学校、高校などから「中小企業の共同求人なら同友会」という高い評価をいただくなど深い信頼関係が築かれています。

主な活動

- ① 就職案内の作成、就職ガイドブックの作成、学校訪問や学校との懇談会の開催、セミナーの開催
- ② 学生向けセミナー及び合同企業説明会の開催、学校ガイダンスへの協力
- ③ 高校求人活動や沖縄求人活動など、を行っています。



社員教育は他人任せになっていませんか？

同友会は労使の高い信頼関係こそ企業発展の原動力として 1975 年(昭和 50 年)に『中小企業における労使関係の見解』を発表しました。

同友会は社員をもっとも信頼できるパートナーとして、共に育ちあう人間尊重の経営をめざしています。同友会の社員教育はそうした考えから

「共に育つ」企業づくりをめざしてきました。経営者と社員が共に学びあい、育ちあい、人間として生きる喜びを実感できる企業をつくろうと「共に育つ“共育”」という理念をかかげています。

厳しい時代だからこそ、高い次元での社員ひとり一人の成長は欠かせません。同友会では、「新入社員研修」を始め「フォローアップ研修」「マナーインストラクター研修」「幹部社員共育塾」「共育講演会」などを行っています。異業種の社員がお互いの経験を通じてグループ討論で学びあう研修は同友会ならではのものです。

